

京都府立図書館を使った「京都探求」授業

京都府立京都すばる高等学校 2 年生

平成 28 年 5 月 18 日（水）来館

京都府立図書館で、京都すばる高等学校ビジネス探求科「京都探求」の授業が行われました。来館された 2 年生のみなさんからたくさんの感想をいただきましたので、抜粋してご紹介します。

<実施日程>平成 28 年 5 月 18 日(水) 8:30~11:30

- 8:50~9:30 バックヤードを含めた館内の見学
- 9:30~10:10 府立図書館の利用法、資料の探し方についての説明
- 10:20~11:30 館内自由閲覧(「祇園祭」をテーマに図書館資料を調査)



1906 年に発行された古い本の取扱の仕方をいろいろ教えていただいて、やっぱりすごく貴重なもので大切にしないといけないんだなと感じました。昔の言葉は漢文みたいで内容も難しくて大変だったけれど、そんな貴重な本に触ることができて嬉しかったです。

現代はネットに頼りがちだけど、本にしか載ってない記録や深い情報がたくさんあるので両方を使い分けられるようにしたいです。



まず僕がインパクトを受けたのが図書館の外観でした。その外観は明治時代からのものと聞いてとても歴史のある建物なんだと感じました。

館内に入りいろいろと設備のことなどを説明していただきました。その中でもこれから実際に活用しようと思ったのが2階にあるパソコンを使って調べられるコーナーです。有料のサイトも開けられるので調べられる幅も増えて知識の量も増えるのでこれから活用させていただこうと思いました。

府立図書館へはこのフィールドワークではじめて行き、地元の市立図書館との規模の違いに驚いた。本が多いというのは聞いていたが、あれほどたくさん本があるとは思わなかった。そして、そこにある本を見て、今まで長い時間をかけて集められてきたんだと歴史を感じ、とても貴重な場所だと思った。

京都府立図書館の本の管理はすごくわかりやすく取りやすくなっていることが理解できた。題名が祇園祭と関係なさそうな本でも、目次を確認すると書いてあったり、細かいところに集中することで発見できることがおもしろかった。

私が知っている祇園祭と、本で歴史からたどって見る祇園祭は、また違ったものでした。毎年友達と遊びに行っていたのが、この調べ学習で見方が変わり、遊び気分ではなくなってしまいました。それほど祇園祭は奥が深く、見所がたくさんありました。

このような機会がなければ自分から進んで調べることはなかったと思うので、今回の図書館での学習は自身にとってすごくありがたいものになりました。

こんなに大量の本があるのに、検索するだけで出てくるって本当に管理が行き届いている証拠だな、と改めて思いました。今までは、普通に図書館を利用していたけれど、探している本がすぐに見つかるということは図書館で働いている人がきちんと管理してくださっているからこそ、ありがたさを感じることができました。

また、本の一部が破損したり汚れてしまったりした場合でもきれいな状態に戻るまで修理してくださったり新しいものを注文してくださったりと陰で私たちを支えてくださっていることに気づくことができました。



学習活動における府立図書館の利用、図書館見学について、お気軽にお問合せ下さい。

問い合わせ先: 京都府立図書館

Tel:075-762-4655 Fax:075-762-4653